



<https://www.jsicorp.jp/>

C O R P O R A T E P R O F I L E

日本スペースイメージングは、全世界に広がるパートナーネットワークを最大限に活用し、
宇宙からの情報「地球観測衛星データ」により、
お客様の戦略・意思決定に貢献できるソリューションをご提案してまいります

トップメッセージ

日本スペースイメージング株式会社 (JSI) は、米国政府の軍事偵察衛星技術の商用化・事業化にいち早く着目し、米国ロッキード・マーティン社が始めた商用高分解能観測衛星ビジネスの日本における独占販売権を獲得した三菱商事株式会社により、1998年に設立されました。また、2013年11月には衛星画像分析及びインテリジェンスシステムの分野で長年実績を積み上げていた株式会社日立製作所が筆頭株主として当社へ資本参加し、三菱商事の事業構築力と日立グループの技術力を背景とした衛星画像提供サービスの事業展開を行っております。

世界情勢のめまぐるしい変化や自然災害への対応にあたり、早期情報収集による情勢把握があらゆる局面で必要であると考えます。私たちがご提供している衛星画像は、安全保障分野はもとより、インフラ設備のモニタリング、防災を含めた国土管理、農地・森林の状況把握などの公共・民間分野でも幅広く利用されています。また、従来の光学・レーダー衛星画像のみならず、熱を感知する中間・熱赤外衛星画像、ハイパースペクトル衛星画像、及び宇宙空間で収集されるその他各種情報の提供についてもそそ野を広げ、様々な分野でご利用できるよう展開して参ります。『世界を視野にいたした衛星画像・宇宙情報ビジネスを拓き社会に貢献する』を企業ミッションの一つとして掲げ、わが国のみならず世界市場も対象に活動分野を拡げて参ります。

衛星画像はその広域性・再訪性から、我々の生活を支える重要な社会基盤として益々必要不可欠なものとなってきております。同時に、衛星画像そのものに加え、画像から抽出・生成した付加価値情報や3Dデータ等、お客様の業務に直接適用いただける製品・サービスを求める声が高まってきております。私たちは多様化するお客様のニーズに迅速・的確・適切にお応えすべく、先進AI技術を活用し、大量の衛星画像を解析・分析することによって、地物抽出・変化検出・動向分析等の新たなサービス提供にも取組みます。また、前述の通り、その他宇宙空間で収集されるあらゆる情報の提供についても取組みを拡大して参ります。

CEO & President Masahiro Kikuchi

代表取締役社長

菊池 雅浩

事業紹介

地球観測衛星を、より身近な情報ソースに

日本スペースイメージングは、情報としての衛星画像データを提供します。多様なニーズに応え、衛星画像データのオンデマンドアクセスや、ベースマップ・三次元データなどの派生製品、AI技術などによる衛星画像からの情報抽出、そしてタイムリーかつ柔軟な衛星撮影サービスを通じて、地球観測衛星からの情報を意思決定を支援する価値ある情報として、お客様が有効活用できるようお手伝いいたします。



情報抽出
サービス



撮影サービス



オンデマンド
アクセス



派生商品



衛星画像
データ

■ 衛星画像データ

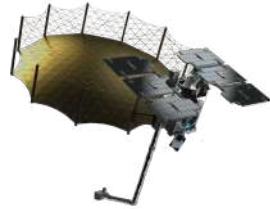
地球観測衛星により、
地球上の様々な地域や場所を撮影した、
地表面情報を正確に把握するのに役立つデータ

Maxar Technologies社 高分解能衛星コンステレーション



50cmから30cmの高分解能衛星WorldView・GeoEyeシリーズおよび衛星コンステレーションWorldView Legionを運用し、関心の高い地域において多頻度かつ多様な撮影時間のデータを提供しています。

Capella Space社 全天候型小型レーダー衛星 コンステレーション



2020年より打ち上げが開始された高分解能SAR(合成開合レーダー)衛星コンステレーションです。天候を問わず、かつ高頻度に撮影ができ、撮影後は画像データを迅速に提供します。

SatVu社 高分解能中間赤外センサー 衛星コンステレーション

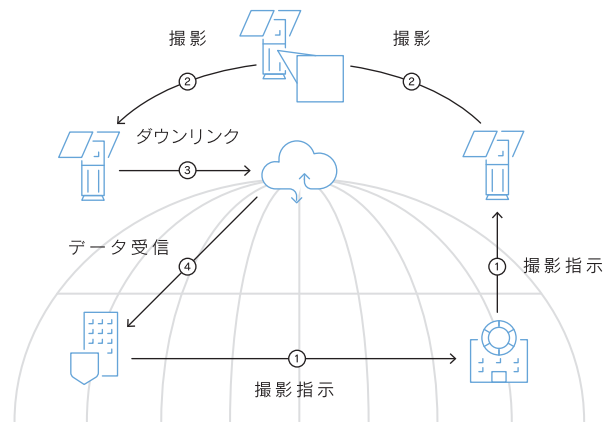


高分解能3.5m中間赤外センサーの衛星です。将来的に衛星コンステレーションを構築して高頻度で地表面からの熱放射撮影が昼夜を問わず可能になります。

■ 撮影サービス

新規に地球観測衛星による 撮影を行うサービス

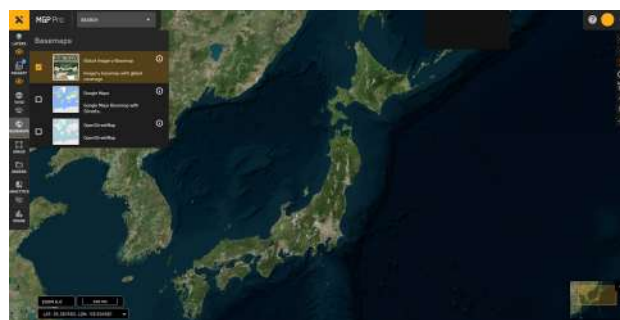
撮影に必要な軌道及び天候判断を行い、ご関心エリアを撮影します。当社では日本を中心とする東アジア地域におけるMaxarTechnologies社衛星の撮影優先権ならびに取り扱い衛星各社の新規撮影を組み合わせ、お客様の細やかな撮影ニーズに基づいた成功率の高い撮影を行います。



■ オンデマンドアクセス

オンラインプラットフォームによる 衛星画像データ利用サービス

ウェブプラットフォームから、過去だけでなく最新の衛星画像データにアクセスできます。直感的にデータを検索、閲覧、ダウンロードでき、使いたい量だけを使用することが可能です。



■ 派生製品

大量の衛星画像データに処理を施し、
広範囲で均質的にした派生データ



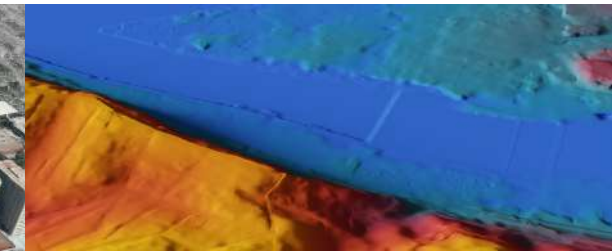
30cm解像度ベースマップ(東京都品川区上空)



左の画像の赤枠内を30cm解像度に拡大したもの

ベースマップ

Maxar Technologies社では50cm解像度の衛星画像で全世界を網羅したベースマップを整備しています。関心の高い都市部では30cm解像度のベースマップや高詳細(HD)処理を活用した15cm相当の解像度を実現したベースマップもご提供可能です。



3D

Maxar Technologies衛星画像のビッグデータと独自の自動処理化を用いた高精度の3次元データ「Precision3D」シリーズです。テクスチャ付の3Dモデル、DSM、DTMなどの製品を展開しています。

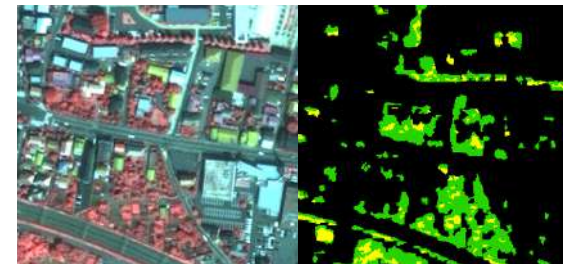
■ 情報抽出サービス

特定の地表面の情報を抽出するサービス



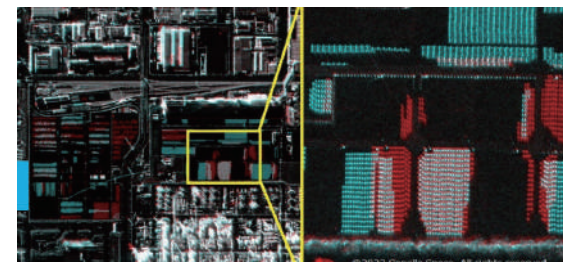
衛星画像データ × AI

特定の地物を抽出します。AIを活用することで、効率的に多数の地物、例えば家屋、ソーラーパネル、自動車などを抽出できます。



スペクトル解析

衛星画像データの波長情報から分類や抽出を実施します。作物の生育状況把握や植生分類、鉱物資源の探査等に活用できます。



多時期・変化抽出

2時期以上の衛星画像データを用いて変化を把握します。特定の地物の増減を可視化したり、沈下や隆起など地表面の変位を推定することができます。

■ 活用分野 様々な分野の調査分析、計画立案に貢献

世界初の商用高分解能衛星IKONOSの打ち上げから約25年が経ち、衛星画像データは様々な業務で利用されています。地球上のどこでも均質なデータを定期的に観測することができる衛星の特徴を生かし、今後も活用の幅を広げていきます。

防災分野

- 浸水域抽出
- 崩落地抽出

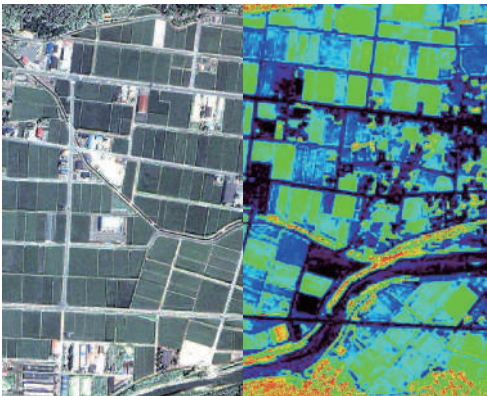


浸水域抽出例
(佐賀・武雄市)

被災状況の判読に優れた光学衛星と昼夜、天候を問わない合成開口レーダー(SAR)衛星を活用し、広域で発生した自然災害の迅速な状況把握に貢献いたします。

農業分野

- 植生指数算出
- 圃場ポリゴン作成
- 転用地の抽出



水稲モニタリング例
(新潟県)

営農判断の支援となる植生指数の提供や、農地台帳をGISで管理する際に必要な農地マップ(圃場ポリゴン)の作成、農地からの転用地の把握などが可能です。

インフラ分野

- ソーラーパネル検出
- 地表面変位量推定



ソーラーパネル
抽出例(千葉県)

多時期のSAR衛星画像データを用いて地表面変位量を推定したり、AIを用いてソーラーパネルなどを効率的に抽出することが可能です。

環境分野

- 緑被率算定
- 土地被覆分類図
- 河川植生判別
- 植生域抽出

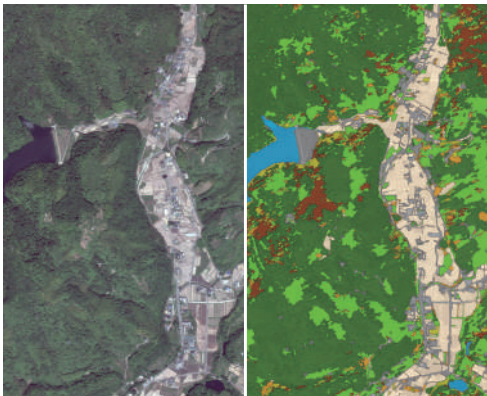


植生域抽出例(埼玉県)

植生の領域を抽出した緑被マップを作成し、そこから緑被率を算定したり、水域や都市域などの分類を追加し、より詳細な土地被覆分類図の作成にご活用いただけます。また河川における植生判別も可能です。

森林分野

- 樹種分類
- 伐採地推定
- 森林・非森林の区分



樹種分類例(愛媛県)

森林面積の計測はもとより、代表的な針葉樹であるスギやヒノキについては画像上で分類することが可能です。複数時期の画像を比較することで、伐採された領域を推定することもできます。

建設・土木分野

- 建物変化抽出
- オンデマンドサービスや新規撮影を使った現状把握



工事進捗管理例
(東京 新国立競技場)

国内外にあるプラントや工場の建設進捗・稼働状況や、車両・クレーンの駐車状況・掘削などの変化をリモートで把握します。現地から上がってくる作業進捗レポートと実態との確認が可能です。

会社概要

社名	日本スペースイメージング株式会社(略称:JSI) (英文名:JAPAN SPACE IMAGING CORPORATION)
設立日	1998年(平成10年)5月11日
取引銀行	三菱UFJ銀行 本店
資本金	4.9億円
主要株主	株式会社日立製作所 三菱商事株式会社
代表者	代表取締役社長 菊池 雅浩
所在地	〒104-0031 東京都中央区京橋二丁目2番1号 京橋エドグラン 20階
URL	https://www.jsicorp.jp/
測量業者登録	第(5)-28024号

沿革

- 1998 ・当社設立
- 2000 ・IKONOS衛星画像データを販売開始
- 2001 ・当社地上システムによるIKONOS衛星の受信運用開始*
- 2007 ・日本全域を1m分解能で整備したIKONOS ONLINE(衛星画像データ配信サービス)を販売開始*
- 2009 ・GeoEye-1衛星の受信運用および衛星画像データ販売を開始
- ・COSMO-SkyMed衛星画像データを販売開始*
- 2011 ・RapidEye衛星画像データを販売開始*
- 2012 ・日本全域を50cm分解能で整備したJ-IMAGE+50(衛星画像データ配信サービス)を販売開始*
- 2013 ・株式会社日立製作所が筆頭株主として資本参加
- 2014 ・QuickBird、WorldView-1、WorldView-2、WorldView-3衛星画像データを販売開始
- 2016 ・Precision3D製品(旧VRICON社3D製品)を販売開始
- 2017 ・日立ソリューションズ社GeoMation(GISソフト)を販売開始
- ・東京都中央区京橋へ本社移転
- ・WorldView-4衛星画像データを販売開始
- 2018 ・ダイナミックモザイク製品(色調補正されたベースマップ)を販売開始*
- ・データ定額制衛星画像データ利用サービスSecureWatch®(旧EarthWatch)を販売開始
- ・ASNARO-2衛星画像データを販売開始
- 2020 ・Capella衛星画像データを販売開始
- ・BlackSky衛星画像データを販売開始*
- ・ダイナミックモザイク30製品を販売開始*
- 2023 ・SatVu衛星画像データを販売開始

*2025年7月現在 販売終了

アクセス

東京メトロ銀座線 京橋駅7番/8番出口直結

東京メトロ有楽町線 銀座一丁目駅7番出口から 徒歩5分

都営浅草線 宝町駅A5番/A6番出口から 徒歩3分

東京駅 八重洲地下街5番出口から 徒歩5分

